

2026 年 有機稲作ポイント研修のご案内

NPO 法人民間稲作研究所

化学合成農薬・化学肥料を使用しない有機稲作を成功させるためには、耕耘・代掻き・肥培管理・水管理など、いくつかのポイントとなる作業があります。当研修会では、作業の目的や方法について、座学と実習をまじえて理解を深めていただきます。すべての地域で必ず成功する方法は確立できていませんが、失敗の原因や成功への糸口は明らかになりつつあります。本研修会をヒントに、ご自身で地域に合った栽培技術をつくりあげて頂ければ幸いです。講師は当研究所理事長館野廣幸をはじめ、農民事務の面々です。慣行栽培から有機栽培に転換したい方、有機栽培を始めたが雑草に負けて困っている方、収量が思わしくない方…どうぞ奮ってご参加下さい。

1. 期日...

第 1 回 3 月 1, 2 日 イン트로ダクション～種と圃場の準備

第 2 回 3 月 29, 30 日 播種～育苗 1 回目代掻き

第 3 回 5 月 10, 11 日 仕上げの代掻きと田植え

第 4 回 6 月 14, 15 日 分けつ盛期のイネ～これからの管理

第 5 回 8 月 23 日 収穫直前 一年の総括

※日程については、天候その他の事由により変更になる場合があります。予めご了承ください。

2. 定員と参加費

定員: 各回 35 名

参加費: 各回 6,000 円 (研究所会員は 5,000 円) × 2 日分 第 5 回は 1 日のみの開催となります。

※昨年度の研修を記録した動画を予習用として提供します。

※昼食をご用意します。

3. 会場

NPO 法人民間稲作研究所 有機農業技術支援センター

〒329-0526 栃木県河内郡上三川町下神主 233 (最寄り駅: JR 宇都宮線石橋駅より車で 10 分)

4. 各回のスケジュール

各回とも、一日目は 10 時～16 時まで、二日目は 9 時～15 時までとなります。

宿泊を希望される方は各自でお手続き下さい。(スーパーホテル上三川、石橋ビジネスホテルなど)

5. 各回の内容(※天候その他の事由により変更となる場合があります)

第1回イントロダクション～種と圃場の準備

(座学)*稲葉光國のすすめた有機稲作の概要と実際 抑草と肥培管理,水管理

- *塩水選の意義と方法
- *休眠打破と種子消毒 温湯浸漬法とその他の方法
- *低温長期間浸種、発芽後の保管
- *雑草抑制のための秋耕、春耕の方法 優占する雑草種ごとに

(実習)*畔塗機、ロータリー耕耘 作業の要点

- *耕耘前の鉄集積層から圃場の状態を判断する
- *種子の予措～脱芒、塩水選、温湯処理、浸種
- *露地プール育苗圃場の整備

第2回 育苗と1回目代掻き

(座学)*1回目代掻き(荒代)の意義と方法

- *播種と育苗について ポット苗・マット苗の特徴と留意点
- *民稲研 成苗用有機培土の扱いと自家製床土の作り方
- *露地育苗における置床の考え方と方法 育苗中の温度管理とかん水

(実習)*ペットボトルを用いた模擬代掻き 層状沈降のイメージ作り

- *圃場での1回目代掻き～代掻きハローの使い方
- *播種作業～ポット播種機とマットうすまき播種機
- *床並べ作業、灌水、被覆～露地プール育苗
- *畑苗代の整備

第3回 仕上げの代掻きと田植え

(座学)*2回目、3回目代掻き(植代)の意義と方法

- *収量構成要素からみた植え付け密度
- *スズメノテッポウすき込み法による無施肥・無除草栽培

(実習)*ポット苗とマット苗 育苗方法の違いによる成苗草姿の観察

- *ペットボトル代掻きの経過観察
- *圃場での2回目代掻き 轍つけ処理
- *圃場での田植え ～マット田植機 薄播きで欠株を防ぐ調整
～ポット田植機 植え付け部の調整と実作業

第4回 分けつ盛期のイネ～これからの管理

(座学) *多収を目指す 生育ステージに応じた水管理・肥培管理

*有機栽培で陥りがちな低収・品質低下の要因と対策

*有機水田の生物多様性と病害虫の耕種的防除

*安定多収・資源循環を目的とした有機輪作体系

(実習) *生育状況の観察 移植後 35 日(出穂前 40 日)のイネ ～根、分けつ、草姿

*現地視察研修(バス移動予定、視察先未定)

第5回 収穫直前 一年の総括

(座学) *気象データから見た高温障害発生の可能性と対策、収穫後の秋耕の効果と方法

*参加者のイネの生育状況報告、次年度に向けて(参加者から)

(実習) *成苗・疎植のイネ草姿と収量構成

*栽培管理の違いによる収量と外観品質の比較

6 お申込み・お問い合わせ

氏名			
住所			
電話番号		メール	
参加する回	全日程 ・ 部分参加 (第 _____ 回に参加希望)		
参加費	研修会当日に現金でお支払いください		
稲作の経験	無し ・ 有り (_____ 年、うち有機栽培 _____ 年) / 栽培面積 _____ a		
特に学びたい内容 困っていること	(例; クログワイの抑制について…等)		

【お問い合わせ先】

NPO 法人民間稲作研究所

〒329-0526 栃木県河内郡上三川町鞘堂72

電話・ファクス: 0285-53-1133(高山)

メール: info@inasaku.org